



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月6日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL https://www.koike-japan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 康洋
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	9,897	1.9	△38	—	104	△63.6	△16	—
30年3月期第1四半期	9,710	△5.6	168	△45.1	288	△30.6	147	△37.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △398百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 112百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△4.05	—
30年3月期第1四半期	35.64	—

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	54,091	30,814	53.1
30年3月期	55,318	31,528	53.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 28,700百万円 30年3月期 29,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	70.00	70.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	2.6	550	31.3	650	15.4	350	64.1	84.57
通期	45,500	2.5	1,500	12.1	1,700	10.8	900	19.2	217.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	4,522,933株	30年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	384,648株	30年3月期	384,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	4,138,312株	30年3月期1Q	4,138,994株

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済や欧州経済が堅調に推移し、総じて緩やかな回復の動きが見られましたが、米国と中国の貿易摩擦による今後の世界経済に与える影響が懸念されており、先行きは不透明感が強まりました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどにより、回復基調で推移しましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界では需要に回復の動きが見られ、造船業界では低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは10月に迎える創業100周年に向かって「グランド100トライアスロンセール」による拡販活動の活性化に努め、売上高は増加したものの、利益率の高い大型案件の減少などにより、営業損失となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は98億97百万円（前年同期比1.9%増）、営業損失は38百万円（前年同期は営業利益1億68百万円）、経常利益は1億4百万円（前年同期比63.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億47百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、当社グループの主需要先である造船業界で低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなり、売上高は減少し、セグメント損失となりました。

その結果、売上高は33億43百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント利益1億46百万円）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、鉄工・建機関連の需要が復調するなか「グランド100トライアスロンセール」の一環として拡販活動に注力するとともに、医療関連に関する営業強化に取り組み、酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加したことなどにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は39億93百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は2億8百万円（同23.6%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、「グランド100トライアスロンセール」の一環として拡販活動に取り組み、溶接機・溶接関連商品・安全器の売上高が増加しました。

しかしながら、利益率の高い大型案件が減少したことなどにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は24億66百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は49百万円（同39.0%減）となりました。

その他

その他の部門においては、排ガス処理装置に関する中国での大型液晶画面向けの旺盛な需要を背景に受注が増加したものの、当第1四半期での出荷には至らず、売上高は減少しました。

また、排ガス処理装置に関する新製品開発を目的とした大学研究機関との共同研究に伴う研究開発費が増加したことなどにより、セグメント損失となりました。

その結果、売上高は93百万円（前年同期比21.7%減）、セグメント損失は11百万円（前年同期はセグメント利益12百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は540億91百万円で、前連結会計年度末比12億27百万円の減少となりました。

流動資産合計は307億9百万円で、前連結会計年度末比8億65百万円の減少となりました。これは主に商品及び製品が3億42百万円増加、仕掛品が6億円増加の一方、受取手形及び売掛金が20億32百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は233億81百万円で、前連結会計年度末比3億62百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物が1億56百万円減少、投資有価証券が1億62百万円減少したことによるものです。

（負債）

流動負債合計は185億91百万円で、前連結会計年度末比4億7百万円の減少となりました。これは主に電子記録債務が1億76百万円減少、未払法人税等が2億73百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は46億85百万円で、前連結会計年度末比1億6百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が84百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は308億14百万円で、前連結会計年度末比7億13百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が3億6百万円減少、為替換算調整勘定が2億72百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成30年3月期決算短信」3ページ1. 経営成績等の概況（4）今後の見通しを参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,021	9,127
受取手形及び売掛金	14,951	12,918
有価証券	449	430
商品及び製品	4,234	4,576
仕掛品	1,126	1,727
原材料及び貯蔵品	1,462	1,422
その他	598	717
貸倒引当金	△268	△210
流動資産合計	31,575	30,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,439	4,283
機械装置及び運搬具(純額)	1,209	1,137
工具、器具及び備品(純額)	340	349
土地	9,437	9,427
リース資産(純額)	1,104	1,135
建設仮勘定	8	45
有形固定資産合計	16,541	16,379
無形固定資産		
のれん	17	23
リース資産	10	19
その他	204	208
無形固定資産合計	232	250
投資その他の資産	6,970	6,751
固定資産合計	23,743	23,381
資産合計	55,318	54,091

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,036	7,990
電子記録債務	3,162	2,985
短期借入金	4,080	3,936
1年内返済予定の長期借入金	417	355
未払法人税等	380	107
賞与引当金	509	499
役員賞与引当金	79	15
受注損失引当金	35	31
製品保証引当金	63	43
その他	2,233	2,626
流動負債合計	18,998	18,591
固定負債		
長期借入金	206	121
役員退職慰労引当金	202	207
退職給付に係る負債	166	170
資産除去債務	14	14
その他	4,201	4,171
固定負債合計	4,791	4,685
負債合計	23,790	23,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,354
利益剰余金	20,310	20,004
自己株式	△920	△920
株主資本合計	25,772	25,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,851	1,750
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	592	320
退職給付に係る調整累計額	307	295
その他の包括利益累計額合計	3,619	3,234
非支配株主持分	2,135	2,114
純資産合計	31,528	30,814
負債純資産合計	55,318	54,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,710	9,897
売上原価	6,970	7,190
売上総利益	2,739	2,707
販売費及び一般管理費	2,571	2,745
営業利益又は営業損失(△)	168	△38
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	41	41
受取賃貸料	45	48
持分法による投資利益	8	6
物品売却益	8	14
為替差益	33	—
貸倒引当金戻入額	23	55
その他	4	8
営業外収益合計	167	180
営業外費用		
支払利息	22	19
賃貸費用	8	11
為替差損	—	2
その他	16	3
営業外費用合計	47	37
経常利益	288	104
特別利益		
固定資産売却益	1	12
関係会社清算益	—	4
その他	1	0
特別利益合計	2	17
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
減損損失	0	40
その他	0	—
特別損失合計	1	40
税金等調整前四半期純利益	290	82
法人税、住民税及び事業税	133	55
法人税等調整額	△13	2
法人税等合計	119	58
四半期純利益	171	23
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	40
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	147	△16

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	171	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△103
為替換算調整勘定	△148	△308
退職給付に係る調整額	△4	△11
その他の包括利益合計	△58	△422
四半期包括利益	112	△398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	△402
非支配株主に係る四半期包括利益	33	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,461	3,806	2,322	9,590	119	9,710	—	9,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,461	3,806	2,322	9,590	119	9,710	—	9,710
セグメント利益	146	168	81	397	12	409	△241	168

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△241百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288百万円、たな卸資産の調整額18百万円及びその他の調整額27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,343	3,993	2,466	9,804	93	9,897	—	9,897
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,343	3,993	2,466	9,804	93	9,897	—	9,897
セグメント利益 又は損失 (△)	△1	208	49	256	△11	245	△283	△38

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△283百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△321百万円、たな卸資産の調整額2百万円及びその他の調整額35百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	2,736	96.3
高压ガス (百万円)	58	66.5
報告セグメント計 (百万円)	2,795	95.4
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	2,795	95.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	2,863	114.2	3,535	114.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,343	96.6
高压ガス (百万円)	3,993	104.9
溶接機材 (百万円)	2,466	106.2
報告セグメント計 (百万円)	9,804	102.2
その他 (百万円)	93	78.3
合計 (百万円)	9,897	101.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。